



換気システム用部材 **住宅用**  
外気清浄フィルターボックス

形名  
**P-100FB2**

据付説明書

販売店・工事店様用

このフィルターボックスは換気システムの給気経路に据付けて使用するものです。  
■この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書をよくお読みください。  
■据付けは販売店・工事店様が実施してください。  
間違った据付けは、故障・不具合の原因となります。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。  
お客様自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

## 1.安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

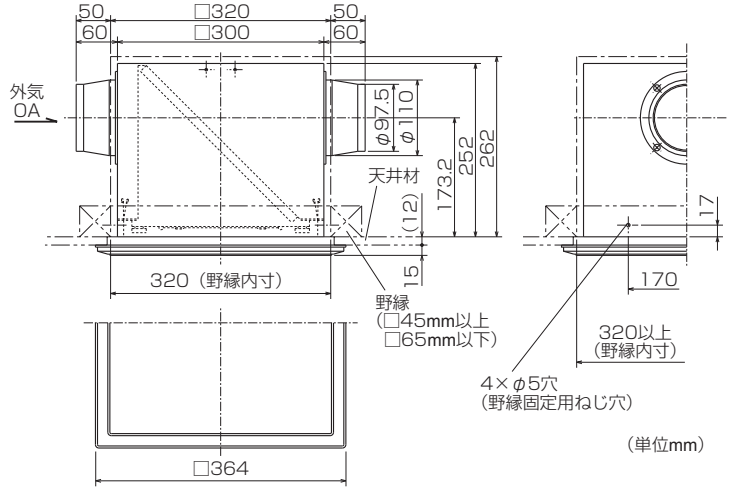
<p><b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p>	<p><b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの</p>
<p><b>分解禁止</b> 改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。</p>	<p><b>禁止</b> 塗料など有害ガス・腐蝕成分を含んだガスが発生する場所には据付けしない 故障の原因。</p>
<p><b>指示に従う</b> 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に据付ける 落下によるけがの原因。 外気の取入れ口は、燃焼ガスなどの排気を吸い込まない、積雪で埋もれない位置を選ぶ 新鮮な空気が取入れられず、室内が酸欠状態になる原因。</p>	<p><b>指示に従う</b> 下記の使用条件を超える所には据付けない 外気温度 本体周囲温湿度 -5~ 20℃ 60%RH以下(露点温度12℃以下)の周囲条件でご使用ください。 使用条件を超えた場合、本体表面に結露する場合がありますので、その場合は拭き取ってください。</p>
<p><b>指示に従う</b> 据付けの際は、足元が不安定な台に乗らない けがの原因。 本体及びダクト配管は断熱層・気密層の内側に設置する 断熱層外では、本体室内側結露の原因。 据付けの際は、手袋を着用する けがの原因。 部品の取付けは確実に 落下によるけがの原因。</p>	<p><b>指示に従う</b> 配管ダクトには必ず断熱処理を行うか、断熱ダクト(P-13DSVなど)を使用する。ダクト配管は本体から屋外へ向かうダクト及び、本体から室内へ向かうダクトの断熱は必ず根元まで行う 結露により天井・床を汚す原因。 吸込ダクトの屋外側先端には、雨水・雪が浸入しにくい構造のフードを選定し、本体から屋外へ向かうダクトは、雨水浸入防止のため、屋外に向かって2m以上かつ、1/30以上の下り勾配になるように取付ける 結露により天井・床を汚す原因。</p>
<p><b>禁止</b> 高温(40℃以上)となる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。</p>	

**お願い**  
●下記の溶剤・洗剤を使用して清掃しないでください。  
アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンザー等けんま材入りの洗剤(変質・変色の原因になります)

## 2.正しくお使いいただくために必ず守ること

<p>●フィルター取出側には、メンテナンススペースを必ず確保してください。 ●本体にねじれ、変形がないように設置してください。 ●本体は水平から±1°の範囲で設置してください。 ●この製品は給気経路専用ですので、排気経路へは接続できません。 ●次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 極端な曲げ</li> <li>● 多数の曲げ</li> <li>● 吐出口のすぐそばでの曲げ</li> <li>● しぼり</li> </ul>
---	---

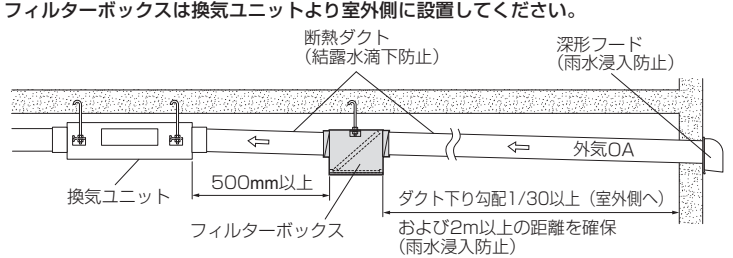
## 3.外形寸法図



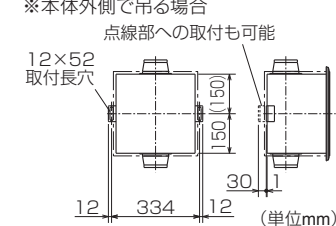
### ■付属部品

- 断熱材A.....2個
- 断熱材B.....2個 (800mm×50mm×3mm)
- 断熱材C.....2個
- 断熱材D.....2個 (70mm×70mm×5mm)
- 断熱材E.....2個 (90mm×90mm×2mm)
- 断熱材F.....1個 (400mm×50mm×3mm)
- ダクト接続口.....2個
- 天吊金具ねじ類(袋入り).....1セット
- 天吊金具.....2個
- 天吊金具、ダクト接続口 固定用ねじ.....12本
- 野縁固定用木ねじ.....4本
- 野縁固定用 スペース.....4個

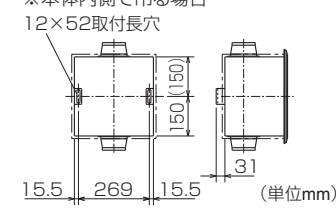
### ■据付例



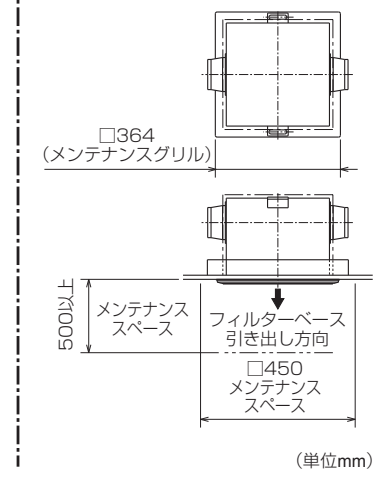
### ■天吊金具取付要領図(2点吊り)



### ■天吊金具取付要領図(2点吊り)



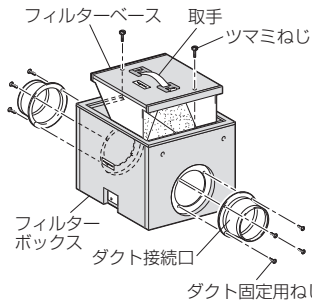
### ■メンテナンススペース



**お願い**  
●フィルターボックスの据付位置および据付ピッチは、天吊金具取付要領図およびお客様ご指定の住宅換気システム配管系統図を参照し、室外側(OA)ダクト方向および天吊金具位置をよく確認のうえ、フィルターボックスを設置してください。  
●フィルターボックスの設置には市販のアンカーボルト(M8またはM10)をご使用ください。  
●フィルターボックスのメンテナンスのためには上図のようなメンテナンススペースが必要です。フィルターベースを取りはずすためのメンテナンススペースを確保してください。(上記の寸法が確保されないと、メンテナンスが出来ない場合があります)  
●メンテナンスグリルは開梱後取付けるまで傷つけないようお願いいたします。

# 4.据付方法

## ①ダクト接続口の取付け



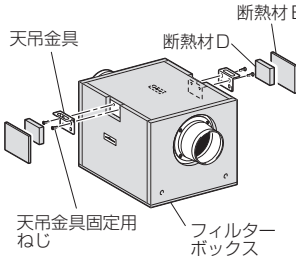
1. ツマミねじ(2本)をはずし、取手を持ってフィルターベースを取りはずします。

### 注意

※はずしたツマミねじはなくさないようにしてください。フィルターベースが取付けられなくなります。

2. 付属のダクト接続口をフィルターボックスへ付属のダクト固定用ねじ(4本×2方向)で取付ける。(対称面2か所)

## ②天吊金具の取付け



1. 付属の天吊金具を付属の天吊金具固定用ねじ(2本)でフィルターボックスへ取付ける。(対称面2か所)

2. 付属の断熱材Dを天吊金具の上へ貼り付ける。(対称面2か所)  
※天吊金具の取付位置によって断熱材を適宜切断して貼り付けてください。

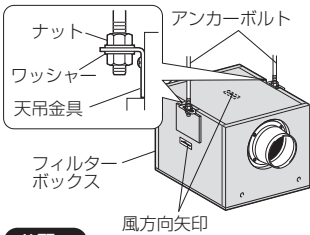
3. 付属の断熱材Eを断熱材Dの上へ貼り付ける。(対称面2か所)

### お願い

- 断熱材Eを貼り付ける際、断熱材Dとフィルターベースの断熱材のすき間がないよう密着させて貼り付けてください。(貼り付けられないと結露の原因)
- 天吊金具の取付位置および取付ピッチは、天吊金具取付要領図およびお客様ご指定の住宅換気システム配管系統図をよくご確認のうえ取付けてください。
- 天吊金具を指定以外のところに取付けると、フィルターベースが取り出せなくなる場合がありますので、必ず指定の位置へ取付けてください。

## ③フィルターボックスの取付け (アンカーボルトへの固定)

※フィルターボックスの設置強度確保のため野縁固定とあわせて行ってください。



1. 外形図および天吊金具取付要領図を参照し、市販のアンカーボルト(M8またはM10)を埋め込む。

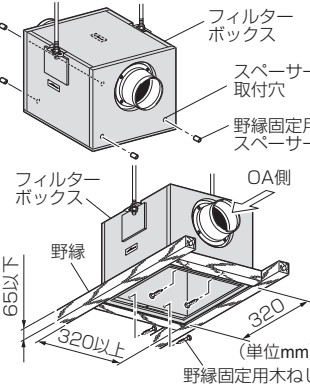
2. フィルターボックスに貼り付けてある風方向矢印を、お客様ご指定の住宅換気システム配管系統図をよくご確認のうえ、風方向をあわせてアンカーボルトへ市販のワッシャー・ナットで固定する。(2か所)

### お願い

- フィルターボックスは必ず換気ユニットの室外給気(OA)側に据付けてください。

## ④フィルターボックスの据付け (野縁への固定)

※フィルターボックスの設置強度確保のためアンカーボルトへの固定とあわせて行ってください。



1. 付属の野縁固定用スペーサー(2個)を取付穴(4か所)へ取付ける。(対称面2か所)

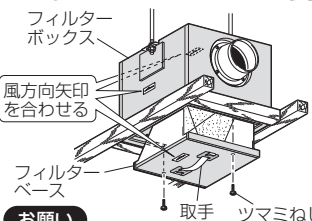
2. 内寸が左図の寸法になるように天井の野縁を組む。

3. 付属の野縁固定用ねじ(4本)で固定する。

### お願い

- フィルターボックスは野縁より下へ出ないようにしてください。
- 野縁の開口部が大きい場合、野縁固定用ねじを締め付けすぎるとフィルターベースのツマミねじが締まらなくなる場合がありますので注意してください。

## ⑤フィルターベースの取付け



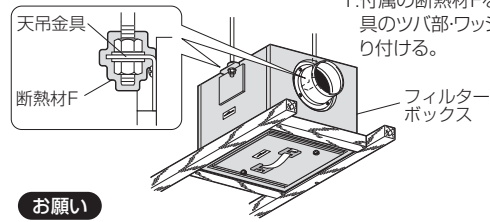
1. はずしておいたフィルターベースを、フィルターボックス本体の風方向矢印にあわせ奥まで押し込む。

2. ツマミねじ(2本)を締め付け確実にフィルターベースを取付ける。

### お願い

- フィルターベースを取付けるときは、フィルターベースを手で支えながら取付けてください。フィルターベースが落下するおそれがあります。

## ⑥天吊金具の断熱補強 (対称面2か所)

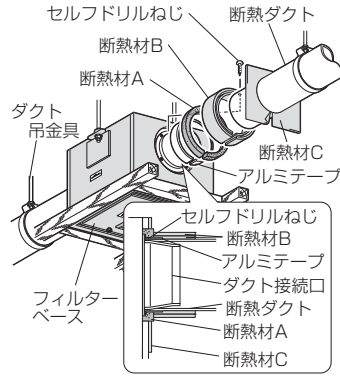


1. 付属の断熱材Fを必要な長さに切断し、天吊金具のツバ部・ワッシャー・ナットが隠れるように貼り付ける。

### お願い

- 断熱材の貼り付けは、天吊金具などの金属部が露出しないように貼り付けてください。(貼り付けられないと結露の原因)

## ⑦ダクト接続および断熱補強 (対称面2か所)



1. ダクト接続口に断熱ダクトを抜けないようにセルフドリルねじ(市販品、1本)で固定する。

2. ダクト接続口と断熱ダクトを、アルミテープ(市販品)で風漏れのないように巻き付け固定する。

3. 付属の断熱材Aをダクト接続口の周囲に埋め込むように貼り付ける。

4. 付属の断熱材Bを断熱材Aと断熱ダクトのすき間を埋めるように巻き付ける(2重)

5. 付属の断熱材Cを断熱材Aとフィルターベースのすき間をふさぐように貼り付ける。

### 注意

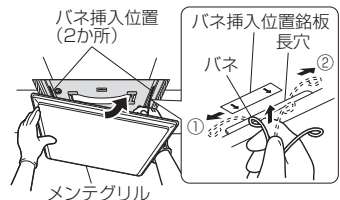
- 結露防止のためダクト接続口は根元断熱する。
- フィルターボックスおよびダクト配管は断熱層・気密層の内側に設置する。

### お願い

- 断熱ダクトを接続する前に、ダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- 断熱ダクトは、フィルターボックスに力が加わらないように、ダクト吊金具などで天井から吊ってください。

## ⑧メンテナンスグリルの取付け

天井施工後、付属のメンテナンスグリルを取付ける。



1. メンテナンスグリルのばねをばね挿入位置銘板を目印にして、片方のばねを長穴に挿入する。①

2. もう片方のばねもばね挿入位置を目印にして長穴に差し込む。②

3. 2か所のばねを挿入したら、手を放し軽くグリルを押し取付ける。

# 5.据付け後および試運転の確認

	チェック項目	不具合時の処置	チェック
本体設置	本体及びダクト配管は断熱層・気密層の内側ですか?	断熱層・気密層の内側にする。	<input type="checkbox"/>
	本体は水平から±1°の範囲で設置されていますか?	±1°の範囲で設置する。	<input type="checkbox"/>
	指定のメンテナンススペースがありますか?	メンテナンススペースを設ける。	<input type="checkbox"/>
	ダクトは雨水の浸入を防ぐため、屋外に向かって2m以上かつ、1/30以上の下り勾配をつきましたか?	2m以上距離をとり、かつ1/30以上の下り勾配をつける。	<input type="checkbox"/>
	フィルターボックス内に異物がないか確認する。	異物があれば取り除く。	<input type="checkbox"/>
ダクト接続	風方向と風方向矢印はあっていますか?	合わせて設置する。	<input type="checkbox"/>
	換気ユニットの室外側に設置しましたか?	設置する。	<input type="checkbox"/>
	ダクト内に切り粉や異物(紙・ビニールなど)が入っていないか確認する。	異物があれば取り除く。	<input type="checkbox"/>
	ダクト接続口は根元まで断熱しましたか?	断熱処理する。	<input type="checkbox"/>
	フィルターボックスにダクトが接続されていますか?	ダクトを確実に接続する。	<input type="checkbox"/>
試運転確認	フィルターボックスが換気ユニットの給気(OA)側に設置されているか確認する。(設置されていない場合、換気ユニットの性能が確保されなくなるおそれがあります)	設置されていない場合は、お客様ご指定の住宅換気システム配管系統図を参照し設置し直す。	<input type="checkbox"/>
	異常な振動や騒音がないか確認する。	取付ねじがゆるんでいたら固定し直す。 フィルター枠がはずれていたら固定し直す。 ダクトがはずれかかっていたら接続し直す。	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>

※接続される換気ユニットの据付説明書もよくお読みになってください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。